



2020年6月4日

各 位

会 社 名 株式会社フォーシーズホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 天童 淑巳
(コード番号 3726 東証二部)
問 合 せ 先 執行役員管理副本部長 上 嶋 正 教
(TEL. 092-720-5460)

業績予想の修正(未定)に関するお知らせ

当社は、2019年11月14日に公表いたしました2020年9月期通期(2019年10月1日～2020年9月30日)の連結業績予想につきまして、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を主要因とする最近の業績動向を踏まえ、下記の通り修正することになりましたので、お知らせいたします。

記

1. 2020年9月期の連結業績予想数値の修正(2019年10月1日～2020年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	2,300	104	96	62	9.11
今回発表予想(B)	未定	未定	未定	未定	未定
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期連結実績 (2019年9月期)	1,958	△231	△226	△367	△54.08

2. 修正の理由

2020年5月15日に公表いたしました「第2四半期累計期間における業績予想と実績の差異に関するお知らせ」におきましては、新型コロナウイルス感染症の国内および世界各国における収束期間が不透明であるものの、営業譲受した新ブランドや市場のニーズの高い除菌関連商品の売上動向、上期に先行投資したWEB広告宣伝投資の結果、大幅に増加した新規顧客の定期顧客化等の効果を検証するため、通期の業績予想は変更しておりませんでした。しかしながら、緊急事態宣言が解除されたとはいえ、経済活動の停滞による先行きの不透明感や消費者の生活スタイルの変化もあり、消費意欲が急激に回復する傾向とはなっておりません。

当グループの売上高につきましても、新型コロナウイルスの影響は大きく、コミュニケーション・セールス事業においては、依然として既存顧客の買い控えにより、主力である電話オペレーターによる本年度4月と5月の売上実績は前年対比で約65%となり、新規販売チャネルとして活動していた卸営業先の再開見通しもいまだ立っておりません。化粧品卸売事業においても、インバウンドの需要見込みが大幅に下回り、国内卸営業の本年度4月と5月の売上実績は前年対比約55%となり、回復には時間がかかるものと思われまます。衛生コンサルティング事業においては、主要営業先である飲食店の長期にわたる営業停止期間もあり、いまだ十分な営業活動ができない状況となっております。

このような事業環境における影響を最小限に抑えるべく、人員の柔軟な異動、コスト削減等の各取り組みを進めておりますが、今後の事業環境を見通すことが困難となりましたので、業績予想を一旦未定とさせていただくことにしました。

2020年9月期の業績予想につきましては、今後の業績動向を踏まえ、改めて公表いたします。

※ 上記の予想は、発表日現在のデータに基づき作成したものであり、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

以 上